

2024年1月号 Vol. 78 (2024年1月1日発行)

せんしゅん



ISO9001:2015認証取得
日本医療機能評価(3rdG:Ver.2.0)認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



冬の陽光にきらめく竹林と白雪(長岡京市長法寺付近)

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会



新年のご挨拶

千春会グループ
医療法人社団 千春会
理事長 菊地孝三



地域のこれからに思いを馳せて

新年明けましておめでとうございます。

皆さま、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年世界情勢や経済状況が混沌とする中ではありましたが、新型コロナ感染症は、ようやく一定の収束を見ており、次第に日常が戻りつつあると感じられるようになりました。

千春会では、今年1月、京都市伏見区(御香宮神社付近)において小規模多機能型居宅介護事業所「桃の木」(登録利用者数29名)を開設いたします。加えて、平安神宮近辺にてリハビリ特化型デイサービスの準備も進めているところです。これからも、法人の理念である「良質な医療・看護・介護の提供」は当然のこととし、さらに進化・深化させ、より多くの方々に上質なサービスを提供し、地域社会の発展に努めてまいります。

これまでの千春会

新しい年を迎えるにあたり、あらためて千春会の軌跡を振り返りますと、長岡京市が誕生した昭和47年(1972年)に前身である長岡河上病院が、この地に設立されました。その後、種々の経緯を経て平成9年(1997年)縁あって私が理事長に就任し、法人の理念や目指すべき方向性を定め、地域にとって必要とされる法人を目指してまいりました。

医療においては、近年ようやく認知されてきた「地域のかかりつけ病院」として、個々の患者さんに寄り添った医療を提供し、平成17年(2005年)には病院建て替えと同時に「千春会病院」と名称を改め、第二の創業を宣言いたしました。医療の質向上のため医局人事に精力的に取り組み、平成19年(2007年)藤原仁史医師を院長にお招きし、以降、各専門分野の練達の医師たちを招聘し、現在は60床(一般病床36床)の病床に対して17名の常勤医師を配する陣容となりました。さらに今後も医師の増員を図ってまいります。また、コメディカルの充実も同時に図り、診療報酬の有無にとらわれることなく専門看護師や歯科衛生士、公認心理師といった専門職を配置したことで、確実に医療の質が上がっているものと考えています。

医療と表裏一体となる介護事業にも、介護保険施行前からいち早く着手し、これまでに22施設(53事業

所)を開設してまいりました。

近年では、新たなニーズにお応えする形で、保育事業を展開するなど、今では医療・看護・介護・保育において、地域で一定の役割を担っていると思っています。

これからの千春会

現在の千春会は量的拡大を図り基盤を築いてきた第一期を経て、質的充実を図っている第二期と言えます。今後は更なる量的拡大と質的充実の両方を確実に実施し、地域に不可欠な存在であり続けるための努力を続け、そのためには経営陣から一般職、パート職員に至るまで「千春会は地域のための法人である」ということをさらに浸透、徹底させる必要があると思っています。

具体的には、高齢者の増加とともに確実に増えると思込まれる呼吸器疾患や腎・尿路系疾患、糖尿病、心不全、骨折などといった日常診療で遭遇する頻度の高い疾患に、引き続きしっかり対応していくと共に、一部の領域では高度で専門的な医療を提供し、さらには、医療・看護・介護・保育を一体と捉え、連携、融合させることで、ホスピタリティ向上を目指してまいります。

将来的には、健康な方や障害のある方、老若男女、地域の方が病気や介護の相談をはじめ、運動や栄養、学びなど今までの医療という分野にとどまらず住民の細かなニーズや暮らしの中で必要とされる様々なことを包含できるよう、従来型の病院とは全く異なる「街のキーステーション」となるような、面倒見のいい法人を実現したいと思っています。

そして、この乙訓地域がさらに魅力あふれる地域になれるよう、「まちづくり」に貢献してまいります。

私も昨年、古希を迎えました。千春会を率いて四半世紀が過ぎ「地域のために」という思いは今も変わりませんが、そろそろ次世代にバトンを渡す時期に差し掛かってきたのではないかと考えています。いましばらくは現在の経営幹部とともに今後のことをじっくり検討し、ゆくゆくは若き後継者並びにその後継者を支える経営幹部たちを陰に陽に支えつつ更なる高みを目指してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

小規模多機能型居宅介護 桃の木

京都市伏見区銀座町2丁目

通所

訪問

泊り

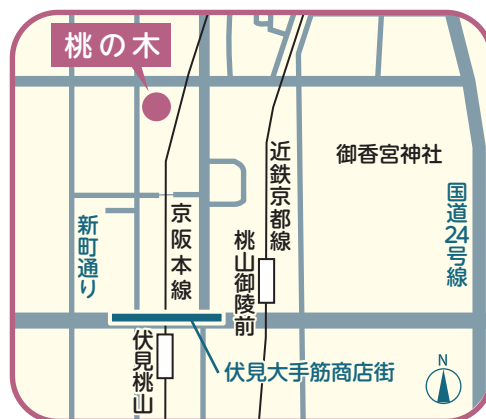
千春会では、3か所目になる小規模多機能型居宅介護事業所「桃の木」がオープンいたします。この事業所は、利用者様の状況に応じて「通所」「訪問」「泊り」の介護サービスを一体的にご提供する事業所です。定員29名という少人数の利用となり、アットホームな雰囲気の中、職員との関係性も近く安心してご利用いただけます。

また、近くには、介護老人保健施設 桃山がありますので、連携を密にしながら、ご本人様、ご家族様の要望にしっかりと応えてまいります。

いつもの日常の延長で、地域との交流も保ちながら、住み慣れた地域で暮らし続けていただけるよう、より細やかなサービスを提供してまいります。



近鉄 桃山御陵前駅
京阪 伏見桃山駅 徒歩5分
電話 075-585-3523



再生医療とは ②

『病気や事故などの理由によって失われたからだの組織を再生すること』を目指して提案された医療技術のことを再生医療といいます。

Q 膝・肩専門外来とはどのようなものですか

原田Dr 膝や肩だけではなく関節の痛みや腫れなどの症状を治療するための専門外来です。最新の治療法(PRP-FD、ショックウェーブ)も行っています。それぞれの症状に合わせ、一番良い方法で治療していきますので、お気軽にご相談下さい。

Q PRP-FD療法での治療効果はどうですか

原田Dr 一概には言えませんが、当院で治療されている方からは効果の声をいただいています。痛みの改善経過のグラフも参照してください。

Q 体外衝撃波治療(ショックウェーブ)はどのような治療法ですか

原田Dr 肩、ひじ、かかと、膝、股関節などの痛みのある部位に、写真のように機器をあて、1回10分～15分衝撃波を照射します。痛みに対してピンポイントで作用して痛みを除くことを目的とする安全かつ有効な治療法です。



整形外科・
膝関節専門・再生医療
原田豪人 先生

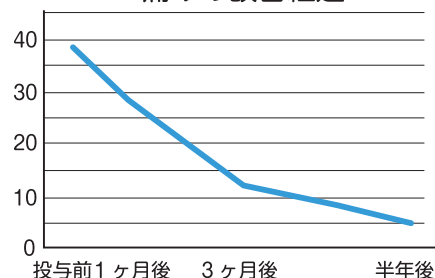


外来患者さんの声

「肩が痛くて痛くて夜も眠れませんでした。痛みで肩も上がらず、来院してショックウェーブを照射したら、1回の照射で、帰りには痛みがウソのように全くなり、楽になったので本当に驚きました。」と効果を実感されている方もおられます。



痛みの改善経過



充実の整形外科手術 バイオクリーン手術室稼働中

千春会病院では、股関節再建センター（藤田 裕センター長）開設に伴い、2022年秋には、空気清浄度最高クラス100のバイオクリーン手術室を増設。さらにMRIなど様々な設備を導入し、各専門のドクターが安心・安全に手術できるような環境を整えてきました。

現在は、THA（人工股関節全置換術）、TKA（人工膝関節全置換術）、関節鏡視下手術、骨折手術など日々多岐にわたる手術がなされており、手術症例は月間20症例を超えています。

また、近隣の病院からは難治症例のご依頼をいただくなど、当院整形外科への信頼も増してきました。

手術後の経過が重要となりますので、看護部・リハビリ科・栄養科などが、術後から退院まで多職種連携のサポートでスムーズな退院につなげています。

これからも、日々着実に信頼を重ね、地域の方々さらに安心して過ごしていただけるよう努めてまいります。

手術室ナースの充実

専従の手術室ナースを配置し、看護部としても、さらに知識や技術の専門性を高めることが出来るよう病棟、外来、透析ナースも協力体制でサポートしています。



（上）股関節再建センター長
藤田 裕医師による手術



（中）バイオクリーン手術室

充実の整形外科

（左前）金村 卓副院長
（右前）石井 清隆先生
（左後）小池 和広先生
（右後）原田 豪人先生
（膝・肩専門外来）



手術看護認定看護師

川原伸之Nsに聞きました！



当院の先生方は素晴らしい技術を持っておられますので、しっかりとサポートしていけるよう努めています。看護師メンバーも外来、病棟、透析室からの協力があるので、術前検査や病棟での術後のことなど非常に情報共有がスムーズです。術前・術後の患者さんやご家族さまからの質問に対しても的確にお応えすることができます。

様々な情報共有や検討も連携しやすく、看護師の各部門がトータルで関わるこのような体制は、患者さんにとっても安心・安全につながる良いシステムだと考えています。

心のケアで治療にさらなる効果を

千春会病院に聖路加病院より、見学に来られました

当院の公認心理師の活動について

「各種疾患の原因の一端には、心理的な要因がある」との菊地孝三理事長の思いから、千春会病院では公認心理師4名が、入院、外来はもとより、訪問においても心理支援を展開しています。

過日の「学会」における当院の心理師による発表がきっかけとなり、一般病院では珍しい公認心理師の導入による取り組みを参考にしたいと、聖路加病院の診療内科医師 山田宇以先生、公認心理師の方々が見学に来訪されました。

当院では、公認心理師が患者さんの背景や精神的な要因を掘り起こすなど、精神的な視点に関わることで困難事例の解決や改善に効果を得ています。



(中央) 聖路加病院 山田先生 (左・右) 同院 公認心理師
(右) 菊地孝三理事長 (左) 藤原院長



地域連携室にて説明中の
菊地副理事長(左)と地域連携室長日下Dr(右)

当法人の理事長、副理事長、院長、地域連携室長からも話を聞かれた山田先生からは「精神科での臨床心理士や公認心理師の関りは一般的ですが、千春会病院さんのような一般病院での導入や多職種との関りは、日本では例を見ない非常に珍しい取り組みです」と大変感心しておられました。

これからも、身体的治療のみならず心のケアと共に「より良質な医療の提供」に努めてまいります。

栄養サポートチーム臨床研修を実施しました

川西市立総合医療センター、
西京都病院、水無瀬病院、
六甲アイランド甲南病院、
荻原記念病院他のご依頼にて

京都・大阪・兵庫などの病院からご依頼を受け、千春会病院栄養科にて栄養サポートチームの臨床研修を実施いたしました。当院では、医師・看護師・薬剤師・リハビリ科セラピスト・管理栄養士など多職種で関わる栄養サポートチームとして、入院中の患者さまの健康状態が万全であるよう、しっかりとサポートしております。

今回は、千春会の取り組みを自院に活かすべく、他病院から栄養サポートチームが研修に来院されました。研修カリキュラムに則り、院内栄養ケア計画、在宅ケアマネジメント、NSTカンファレンスなど様々な研修を終えられた皆さんからは「自院でもNSTラウンドを実施していますが課題も見えました」「回診も手探りのところがあったのですが、今までの方法で良かったという点と、マニュアルやリストの作成を徹底すべきだと参考になりました」「入院患者さまへの介入の速さが素晴らしいと思いました」など有意義な研修となったという声をいただきました。

多職種でのチームワークで大切な栄養管理に努めてまいります。



研修でのNSTカンファレンス

地域へ開かれた介護事業所として 介護老人保健施設 春風 交流スペース

老健「春風」には、エントランスの奥に、滝の流れる「地域交流スペース」があり、地域の方や利用者さんが交流する喫茶スペースとして活用されています。

春風の建つ、久貝地区にお住まいの方々に形成されている健康サロン「久寿会サロン」のご要望をお聞きする形で、月に数回、この交流スペースを開放しています。さらに秋からは、春風内のデイケアあお空で、ご利用者さまがリハビリに使用されているリハビリ機器を使った「健康づくり教室」が開催されています。

地域に開かれた施設として、持てる機能を地域の方々にご提供することで、いつまでも健康で生き生き暮らせるよう介護予防、健康増進につなげています。



地域で生き生き 「久寿会サロン」開催

地域の方々が健康長寿を目指して集う「久寿会サロン」では春風の地域交流スペースを活用して、健康測定会や交流会、ご依頼でリハビリ科セラピストによる体操教室などが開催されています。地域に暮らす方々が健康を意識して交流できる場として、春風の地域交流スペースが有効に利用されています。集まられた方々は、いつも地区で馴染みの方々とニコニコと嬉しそうに参加されています。



地域の介護予防に活用 春風デイケア あお空

デイケアで使用しているリハビリ機器は、日曜日にご利用者さまがいらっしゃらないため、使用が可能です。

久貝地区の「自治会」「老人クラブ久寿会」「久貝安心暮しっく熟実行委員会」が共催し、「あお空」のリハビリ機器を利用して、地域の誰でも無料で参加できる「健康づくり教室」を開催しています。



認知症サポーター養成講座に講師として協力

千春会には、認知症サポーター養成講座の講師である「キャラバンメイト」という資格を持つ職員がいます。今回は、長岡京市東地域包括支援センターより講師依頼があり、近隣スーパーの職員さん対象「認知症サポーター養成講座」で塩井大翼課長が講演しました。多くの方が参加され、「認知症とは・理解すること・応援すること」などについて研修されました。

参加者からは「すごくためになった」「言葉は知っていたが、詳しく知ることができて良かった」との感想をいただきました。

地域の企業に在職の方が認知症に対する理解を深め、地域全体で支える仕組みが構築できるよう、これからも協力してまいります。



講演中の塩井課長

地域で支え合う介護を目指し 家族教室 開催

JR 長岡京駅前バンビオにて

千春会では、ご家族の介護をされている方を対象に介護の技術や知識を学んでいただき、日常の介護に役立てていただけるように月1回勉強会を開催しています。

日常の介護で、わからないことや不安に思うことがたくさんあります。医療や介護のプロフェッショナルからアドバイスや知識を得ることは本当に重要です。つらかった介護の一部分でも解決できれば、不安や怒りの気持ちも和らぎ、より良い介護をご家族様に提供することが出来ます。

「自宅での看護」は看護師から「管理栄養士からの食事の工夫」は管理栄養士「口腔ケア」は歯科衛生士が担当し、さらに「転倒予防」「保険制度」「更衣の工夫」「移動・移乗」など様々な角度から専門家がしっかりと寄り添います。

受講されるご家族同士も同じ悩みを共有できます。医療、介護の知識を持つ方が地域に増え、地域で支え合える介護であるよう、取り組んでまいります。



歯科衛生士による口腔ケアの研修



嚥下(えんげ)食を試食するご家族様



子どもたちも高齢者の皆さんも
生き生き 笑顔

敬老の日のお祝い会

小規模保育園 アトリエ

阪急西山天王山駅 西口すぐ
(保育・高齢複合施設 西山天王山)

保育・高齢複合施設 西山天王山は、0歳～2歳までの小規模保育園と老健、ショートステイが同じ建物の中にある、全国でも数少ない複合施設です。子どもたちと高齢者が自然な形で触れ合えることで、心豊かに過ごせる場所となっています。

秋の「敬老の日のお祝い会」には、アトリエ保育園のある1階に4階の利用者さんが降りて来られ、子どもたちの歌やお遊戯を見て「可愛いね～」と楽しそうに拍手を送っておられました。

子どもたちは一生懸命作った「敬老の日のプレゼント」を、はにかみながらお渡しすると、利用者さまは「ありがとう」と優しく声をかけながら、手をつないだり、頭をなでたり、満面の笑みがこぼれていました。子どもたちは、元気いっぱいにお遊戯を披露するなど、生き生きとした交流会となりました。

利用者さまは子どもたちの元気に触れ、子どもたちは高齢の方に対する優しい心を育む、そんな一助になればと願っております。



かわいいお遊戯にうれしそうな利用者さま

歳

せんしゅん

時

記

1

千春会病院が「京都府救急医療功労者表彰」として 知事表彰されました

令和5年度
京都府保健医療功労者等表彰式にて
京都府公館 レセプションホール



京都府公館の庭にて表彰の方々
菊地孝三理事長（右より三番目）

令和5年11月京都府保健医療功労者等表彰式において、京都府の西脇隆俊知事より「京都府救急医療功労者」団体の部として千春会病院他2団体が表彰されました。当院には「長年、地域のかかりつけ病院として、救急患者を24時間受け入れ、必要性の高い整形疾患の救急医療に積極的に取り組むなど、救急医療体制の整備に貢献した」として表彰状が授与されました。

当院は救急指定病院として昨今のコロナ禍においても24時間365日、これまでと変わらず救急患者さんをできる限り受け入れてまいりました。コロナの医療対応、大規模災害時想定の特訓訓練など、地域の方々の安心安全を念頭に最大限の医療提供ができるよう常に心掛けています。これからも、職員が心ひとつに、さらに充実した救急医療体制の構築に、精進してまいります。

歳

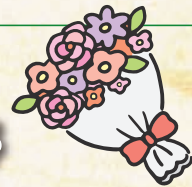
せんしゅん

時

記

2

デイサービスセンター滝ノ町 20周年記念 20年間長年ご利用の利用者さんへ感謝状授与



デイサービス滝ノ町は、今年度20周年を迎えました。近年は、サーキットトレーニングなどで介護予防にも積極的に取り組んでおり、20年長らく継続できた感謝を込めて利用者さまに紅白饅頭をお配りして、みんなでお祝いしました。



感謝状を手に20年間ご利用のお二人

さらに20年間ずっと滝ノ町を利用していただいたお二人には、法人から感謝状を贈呈させていただきました。「立派な額に入れていただいた」と大喜びのお二人。「これまで滝ノ町に来られたのは、この施設だったからです。今日は、これまでで一番のサプライズでした。今日が最高です!」と本当に喜んでくださいました。

職員も「少しでも長くご支援出来て良かったです。元気で来ていただけるのが一番うれしいです。」とお伝えし、笑顔あふれる一日となりました。

編集後記

明けましておめでとうございます。
今号表紙は、「長法寺（天台宗延暦寺末寺）」付近の美しい竹林。筍の産地で有名な乙訓地域（長岡京市、向日市、大山崎町）では珍しい雪景色です。この辺りは、光風美竹通りと名づけられるように美しい竹林が多くみられます。地に根を張り、真っすぐに伸びてゆく竹。早春に芽を出し成長するために初夏から秋にかけ、地中で伸びゆく準備を重ね、いったん芽吹くと成長速度を増しながら空高く伸びていきます。
千春会も今日まで、地域に根を張り「良質な医療・看護・介護の提供」を目指し、

迷いなく一途に努力を重ね、今年も新しい施設を京都市にオープンいたします。これからも千春会は、未来に向けて地域をつなぎ、竹のように真っすぐな思いで地域に貢献してまいります。
冬の陽に輝く清々しい竹を見上げながら、雪の下に待つ次代の芽吹きを思う新春。
千春会の未来予想を楽しみに、今年の干支、昇龍も重ねつつ…。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。（弘）

表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります（インフォームドコンセント）。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります（セカンドオピニオン）。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、
患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千 春 会 病 院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615